



『大胆な規制緩和提言で、自称アサーティヴ・マン』

SAM日本チャプター理事・広島支部長
株式会社 ロジタント

代表取締役社長 吉田 祐起

昨年12月上旬、経済審議会が分厚い「建議書」を橋本総理に提出されました。わがSAMの会は名古屋支部の会員でもある、かの豊田章一郎さんがその審議会会長です

その建議書の中に、私が過去通算5年間にわたって提言し続けて来ている、トラック運送事業の規制緩和の一つ、「最低保有車両台数規制の撤廃」（別名個人トラック制度の容認）がで〜んと盛り込まれたのです！

経済審議会事務局である経済企画庁マンとは数十回にわたる交流を重ねたものでした。しかし、残念ながら、3月の閣議で肝心の部分は「削除」されました。運輸省の猛反対が背景にあるのです。

経審会の建議に先立つ半年前には、同じ提言が行革委員会小委員会から出て、日本国中で業界がてんやわんやになったシロモノです。「全国一律5両」で決着直後の「再燃」です。

業界紙（誌）に発表し続けている拙著関連論文はかれこれ60万字を突破しました。欧米物流先進諸国（とあえて言います）では主流を占める「超低コスト輸送力」としての個人トラックではあるのですが、ムラ社会意識の強い日本人経済社会では「みんなで渡るんだったら、少々高負担でも我慢しよう」ってな感じかも知れません。

それにしても、思うのです。われら日本人はなんと「ノン・アサーティヴ（非自己主張型）」であることか、と。アサーション・トレーニングをあえて「自己表現トレ」とぼかして表現すること自体がノン・アサーティヴです。

自己主張を美德としない国民性で果たしてイイものやら…。時にはアグレッシブな提言活動も辞さない自称・アサーティヴマンのひとり言です。でも、その姿勢は崩しません！